



令和元年10月31日

新宿区立江戸川小学校

No. 652

物事を成し遂げるために大事にしたい 江戸川小の「ONE TEAM」

ワン チーム
校長 早藤 基代孝

1か月に渡り日本中を熱狂させてくれた「ラグビーワールドカップ2019日本大会」が、明後日の決勝戦で閉幕します。ラグビー日本代表チームは、準々決勝で敗れたものの初のベスト8進出という歴史的な快挙を成し遂げ、我々に勇気と感動を与えてくれましたが、その快進撃の原動力となったのは、ジェイミー・ジョセフヘッドコーチが掲げた「ONE TEAM(ワン チーム)」というテーマでした。

強豪国に比べ体格で劣る日本代表にとっては、力強い外国出身選手はなくてはならない存在です。日本代表は、日本を含む7つの国の出身者がいて、さまざまな言語や文化が集まる、いわば「多国籍チーム」です。そのため日本代表としての意識を高め、お互いに意思疎通して同じビジョンをもつことが強豪国に勝つために欠かせないことだったのです。ジョセフヘッドコーチが求めたのは、選手一人一人が自ら判断し、行動する精神面の強さとも言える「自主性」でした。キャプテンのリーチ マイケル選手だけでなく、出身国を問わずリーダーの役割を与え、攻撃や守備などの分野でチームを引っ張ることを意識付けていきました。前回大会ではなかった選手だけのミーティングも増えていき、コーチが提示した戦術やプランを話し合い、疑問点は聞き直し、なおざりにしない。さらにチームづくりのアイデアを提案するなど、日本代表というチームを自分たちで作っていくという意識で結束を高めていったそうです。

本校の教育でも、ラグビーの精神である「One for all, all for one(一人はみんなのために、みんなは一人のために)」の考え方を大切にし、全校朝会の講話でも時々引用させていただいていますが、今大会でジョセフヘッドコーチが掲げた「ONE TEAM」という考え方も、本校の教育方針にある「チーム江戸川」と考え方を同じくしている言葉として、今後ぜひ引用させていただきたいと思っています。※(注)「～for one」とは、本来「勝利のために」の意味ですが、本校では「一人のために」と解釈して用いています。

この「ONE TEAM」の考え方で最近取り組んでいる本校の取り組みに、毎日各クラスで練習を積み重ねた『長なわ大会』があります。個性や体格、体力、運動能力等の違う一人一人が、意識を高め、お互いに意思疎通して同じ目標をもって練習に取り組むことで、クラスの最高記録を次々と更新しています。とても素晴らしい取組です。

もう一つの「ONE TEAM」は、長なわ大会の練習と並行して取り組んでいる『学芸会』です。この学芸会で披露する各学年の劇は、それぞれの役割(照明、音響、大道具、役者、合唱隊等)が「ONE TEAM」の考え方で練習や準備に取り組まなければ成功しません。各学年が「ONE TEAM」の考え方で練習を重ねてきています。11月8・9日の学芸会本番で、ぜひその成果をご覧ください。

また、今回の学芸会では、『吹奏楽団』の皆さんも「ONE TEAM」となって取り組んだ日々の練習の成果を発表します。11月3日の「地域レクリエーション(牛三中)」での発表と併せて、楽しみにしてください。

他にも、クラスや学年、全校児童をチームとして取り組む行事や教育活動がいくつもあります。今後も、本校のいろいろな場面において、この「ONE TEAM」の精神で物事を成し遂げさせ、一人一人の子供達の心身の成長に繋げていきたいと思っています。

<校長談話室> 11月18日(月) 10:00～12:00

お一人でも、お誘い合わせでも、お気軽にどうぞ

【連絡先】 3266-1602 副校長まで

11月の生活目標

手をきれいにあらおう

11月の生活目標 「手をきれいに洗おう」

生活指導主任 真野 剛

10月の生活目標は「時刻を守ろう」でした。登校時刻の8時20分に遅れないように登校したり、学芸会の練習で練習開始の時刻を守ったり、と時刻に気を付けながら、生活をするように呼びかけてきました。

さて、11月の生活目標は、「手をきれいに洗おう」です。インフルエンザが流行する時期に備えて、うがいや手洗いが習慣になり、身に付くよう呼びかけていきます。手を洗った後、清潔なハンカチで手を拭くことも大切です。毎日、ハンカチやティッシュは持たせるようにご家庭でもご協力をお願いします。学芸会という大きな行事がある11月、体調管理に気を付けて、元気に過ごせるように、学校でも指導をしていきます。

